

新聞広告賞



第
35
集

NEWSPAPER ADVERTISING PRIZE 2015

序文

新聞広告賞は、新聞広告の新しい可能性を開拓した優れた活動を顕彰し、新聞広告の発展につなげることを目的に1981年に創設いたしました。今年で35回を迎えます。新聞協会広告委員会が毎年、“新聞広告活動の全過程”を対象に選考にあたり、優れた広告活動を社会に広く伝えるよう努めています。

今回は、昨年6月1日から本年5月末日までの1年間に新聞協会加盟紙に掲載された広告の中から、広告主部門と新聞社企画部門を合わせ414作品の応募がありました。これもひとえに広告主、広告会社はじめ広告に携わる皆さまと読者のご理解、ご支援あつてのことであり、あらためて感謝申し上げます。

受賞作品は多岐に及び、それぞれに新聞広告の可能性を感じます。人気歌手やタレントをクローズアップしたり、美しいビジュアルやコピーで企業メッセージを伝えたり、地域ごとに広告原稿を切り替えたり、スマートフォンで動画を見られるARを掲載したり、その表現は実に様々です。新聞媒体ならではの大型広告や、鮮やかなカラー写真の再現、一部ごとに異なる印刷ができる「可変印刷」など、高度な印刷技術が支える表現も目を引きました。

新聞広告大賞に選ばれた資生堂の「2015 企業広告 50 selfies of Lady Gaga」は、世界的な人気歌手レディー・ガガの写真50作品を、それぞれ全国50紙にすべて切り替えて掲載して企業メッセージを伝えています。新聞が起点となってツイッターなどSNSで大きな話題を呼び、広告主がターゲットとした若年世代の注目を集めました。新聞広告の影響力がいかに発揮された事例といえるでしょう。

この冊子は受賞作品26件すべてを詳しくご紹介するとともに、外部審査委員を務めていただいたアートディレクターの中島祥文氏、コピーライターの一倉宏氏に受賞作品を講評していただきました。この作品集が、新たな広告企画を検討いただく際の参考になれば幸いです。

私たちはこれからも、広告主や広告会社からのご意見やご要望を真摯に受け止め、新聞広告の発展に努力してまいります。皆さまの信頼に応えるため、新聞社の持つ機能と総合力を生かし、創意工夫を重ねていく所存です。一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

2015年10月20日

一般社団法人 日本新聞協会
会長 白石 興二郎

第1条 (目的と名称)

日本新聞協会は、新しい新聞広告の可能性を開拓した広告活動を顕彰し、新聞と広告との発展に資することを目的に「新聞広告賞」を設け、毎年新聞週間に際し贈賞する。

第2条 (表彰の事由・贈賞の対象)

- (1) 新聞広告の新しい利用法や表現領域の開拓に成功した活動、新聞広告により広告目的に即して大きな成果をあげた活動、その他新聞媒体と新聞広告の特性・機能を活用あるいは開発し前条の目的に照らして貢献するところが大きいと認められる活動を表彰する。
- (2) 本賞は、協会会員紙に掲載され、前項に該当すると認められた広告作品に贈られる。



第3条 (賞の構成)

- (1) 本賞は広告主部門と新聞社企画部門の二つの部門によって構成する。
- (2) 広告主部門の本賞受賞作品から新聞広告大賞1作品を選定する。
- (3) 選考委員会は、前項両部門について、本賞とは別に、広告主部門においては優秀賞を、新聞社企画部門においては奨励賞を贈ることができる。

第4条 (受賞対象)

本賞の受賞対象は、広告主部門については当該活動の企画立案にあたった広告主企業とし、新聞社企画部門については協会会員新聞社の当該活動企画部門とする。

第5条 (表彰)

- (1) 広告主部門の入選作は6作品とし、新聞広告大賞1作品、新聞広告賞(広告主部門)5作品にそれぞれ賞状ならびに副賞を贈る。
- (2) 新聞社企画部門の入選作は5作品とし、新聞広告賞(新聞社企画部門)として、賞状を贈る
- (3) 優秀賞に対しては賞状と副賞を贈る。
- (4) 奨励賞に対しては賞状を贈る。

第6条 (応募・推薦)

- (1) 本賞は、原則として、本賞の目的に合致した作品の企画・制作、掲載をした関係者の応募により選考を行う。ただし、広告関係の第三者による推薦を妨げない。
- (2) 応募・推薦の手続きは別に定める。

第7条 (選考)

本賞の選考はつぎの方法による。

- (1) 会長の任命する委員をもって新聞広告賞選考委員会を組織し、広告賞贈賞に関する事項を審議決定する。
- (2) 選考委員会は、応募・推薦された候補について審議し受賞者を決定、その旨を理事会上申し承認を得る。
- (3) 選考委員会は、必要に応じ外部の関係者から意見を求めることができる。
- (4) 両部門の特性を考慮し、選考委員会の運営細則を別に定める。
- (5) 選考結果は、「新聞協会報」および「新聞広告報」誌上と当協会ウェブサイトで発表する。

第8条 (選考の対象期間)

- (1) 本賞選考の対象となる作品は、前年6月1日から本年5月末日までの1年間協会会員各紙に掲載されたものとする。
- (2) 上記期間を越える長期の活動については顕彰に値すると選考委員会が判断した場合は、始期は問わずこれを対象に含める。

第9条 (提出資料および締め切り期日)

応募者ならびに推薦者は、当該作品に所定の関係資料をそえて毎年6月初旬までに選考委員会に提出するものとする。

第10条 (その他)

本賞の選考および運用の細目については、選考委員会の決定により別に実施細目を設けることができる。

2013年2月15日 改定

目次

◎序文 日本新聞協会会長 白石興二郎

◎「新聞広告賞」に関する規定

【広告主部門】

〈新聞広告大賞〉

- 4 2015企業広告 50 selfies of Lady Gaga
株式会社資生堂

〈新聞広告賞〉

- 6 姫路城「平成の保存修理工事」
鹿島建設株式会社
- 8 企業広告 キッコーマン「おいしい記憶をつくりたい。」
キッコーマン株式会社
- 10 シリーズ広告 中島屋「同窓会アルバム」
焼津グランドホテル「家族物語」
株式会社静岡中島屋ホテルチェーン
- 12 「小学一年生」創刊90周年
株式会社 小学館
- 14 食器洗い乾燥機／食洗機普及率ランキング
パナソニック株式会社

〈優秀賞〉

- 16 IHI LOGO WORLD
株式会社IHI
- 17 大豆で人も地球も健康に。Soylutionキャンペーン
大塚製薬株式会社
- 18 ENEOS 「聖火はいつも、未来を照らす。」
JX日鉱日石エネルギー株式会社
- 19 10月1日はコーヒーの日
一般社団法人全日本コーヒー協会
- 20 創造で、想像を超える。
中外製薬株式会社
- 21 企業広告「挑戦シリーズ」
東京海上日動火災保険株式会社
- 22 もっとよくしよう。TOYOTA
株式会社トヨタマーケティングジャパン
- 23 三越らしさは、私らしさ。
株式会社松山三越
- 24 シリーズ広告
「わたしもMITSUBISHI ELECTRICのユーザーです」
三菱電機株式会社
- 25 祭りののどに、龍角散。
株式会社龍角散

【新聞社企画部門】

〈新聞広告賞〉

- 26 秋田魁新報創刊140年記念「元気まで届ける新聞」
秋田魁新報社 営業局
- 28 絹の物語 未来へーシルクカントリー群馬キャンペーン
上毛新聞社 営業局、東京支社営業部、地域貢献室
- 30 ハイブリッド印刷装置とデジタル印刷機による
可変印刷広告特集
中日新聞社 広告局
中日新聞北陸本社 広告部
- 32 富山もようプロジェクト
北日本新聞社 東京支社営業部
- 34 COOL ARITA ~未来への挑戦~
佐賀新聞社 営業局

〈奨励賞〉

- 36 東京新聞130周年記念特集「大相撲新聞」
東京新聞 広告局
- 37 河北新報 東日本大震災特別企画展 1462days
~アートするジャーナリズム~
河北新報社 東京支社営業部
- 38 家族のはなし2014 「家族のうた」
信濃毎日新聞社 広告局
- 39 NEWSPAPER FES!!
北國新聞社 営業事業局広告部
- 40 未来のトップアスリート輩出を目指して
「からだうごかす大作戦」
中国新聞社 東京支社営業部
- 41 選評 選考委員会委員長 鈴木克之
- 42 審査講評 中島祥文氏
一倉宏氏
- 44 応募状況・選考経過
第35回新聞広告賞選考委員会委員名簿
- 表3 新聞広告大賞受賞告知広告

広告主部門は広告主名 50 音順、新聞社企画部門は会員名簿順です。
文中、制作スタッフの略号は以下のとおりです。
Pro=プロデューサー、CD=クリエイティブディレクション、AD=アート
ディレクション、C=コピー、D=デザイン、Ph=フォト、I=イラスト、
CG=コンピューターグラフィックス、PI=プランニング

広告主部門
▼新聞広告大賞

広告主部門
▼新聞広告賞

広告主部門
▼優秀賞

新聞社企画部門
▼新聞広告賞

新聞社企画部門
▼奨励賞